

ベトナム Japan ICT Day 2012 報告

2012年11月12日、ベトナムのホーチミン市で、Japan ICT Day 2012 が開催された。参加者は約 200 名。JISA からは、五十嵐 隆 副会長・国際委員長をはじめ 20 人が参加した。

カイ ベトナム科学技術副大臣、VJC（ベトナムー日本協力委員会）ファン委員長、JISA 五十嵐副会長の挨拶の後、多数の講演が行われた。セミナーの中では、現地で事業活動をしている NEC、日本ユニシス関係者の講演の他、日系企業をパートナーとしているベトナム企業や、ニッセンやニッサンテクノなどベトナムでソフトウェア開発を行っている日系ユーザの事例発表が行われた。また、日本からの参加者からは、富士通 門岡部長よりスーパーコンピュータ京の社会インフラへの応用についてや、IPA 大久保氏より日本からベトナムへのオフショア開発について、および IT スキルスタンダードとアジア諸国での普及推進状況について、発表が行われた。

またセミナー修了後には、ビジネスマッチングが行われ、日本側参加各社のテーブルと名札が用意されており、商談を行いたいベトナム企業が順番待ちの行列をつくっていた。夜には、ネットワーキングディナーが行われ、日越両国の参加者間で懇親することができた。

翌 13 日にはホーチミン市郊外にあるサイゴンハイテクパークを訪問し、パーク内にある FPT ソフトウェア社ホーチミンオフィスで施設見学と意見交換を行った。このサイゴンハイテクパークは、2010年10月に設立され、米インテル社を初めとする欧米系企業 4 社、日系企業 5 社を含む 54 社が入居している。FPT ソフトウェア社ホーチミンオフィスには、従業員用の食堂だけでなく、くつろげるカフェやテニスコートもあり、福利厚生に力を入れている同社の取り組みが伺えた。

なお、今回の Japan ICT Day 2012 プログラムの前後には、JISA からの参加者間でのネットワーキングや情報交換をするための結団式や食事会を実施し、ベトナムへの事業展開に関する情報共有を行った。

VINASA 側は日本とのビジネス強化を要望しており、2013年早々に VINASA ミッションとして来日し、日本でビジネスセミナーを開催したいとの申し出があり、JISA でもできる限りの協力をする予定。

(国際部)